

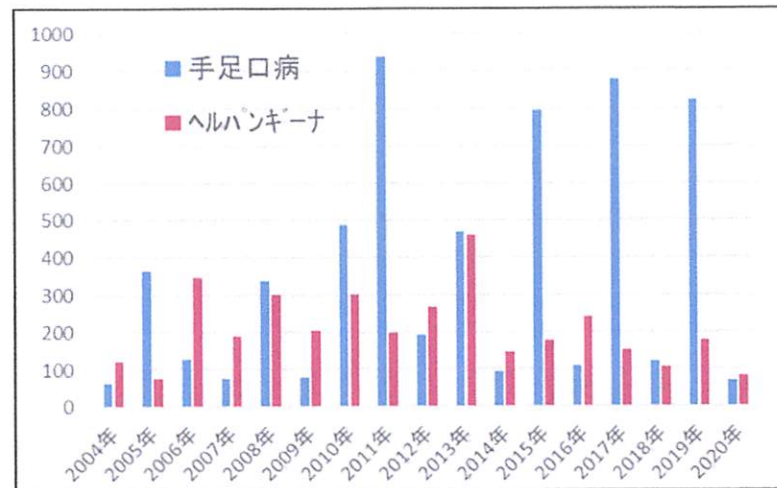
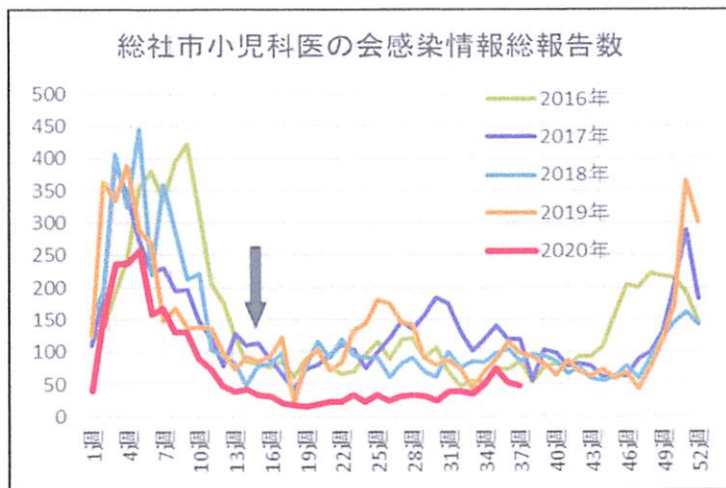
週間感染症情報

2020年36-37週 2020年8月31日より2020年9月13日まで

36週 37週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	2	3
ムンプス(おたふくかぜ)		1
百日咳		
溶連菌感染症	1	3
手足口病	10	9
ヘルパンギーナ	20	9
伝染性紅斑	1	
感染性胃腸炎	9	13
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	6	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	6
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症		
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

36-37週の報告です。患者さんは少ないです。朝晩涼しくなり、気管支喘息が増加しています。感冒症状の症例を見かけるようになりました。RSウイルス感染症の報告はまだありません。水痘は、市内小学校でクラス内感染があるようです。左下のグラフの様に15週からの感染症の報告は、例年の1/3(759/2329)と大きく減少しています。また、右下のグラフの様に、手足口病は隔年で流行しています。今年は流行年ではなく、ヘルパンギーナの大きな流行もないようです。手足口病やヘルパンギーナの報告はまだ多いですが、ピークは越えたようです。教育委員会の出席停止者の報告も、9月になっても20-30人と増えていません。先日幼稚園の健診に行きましたが、みな元気で、風邪気味の園児はほとんどいませんでした。身体的には、かつてないほど健康でした。感染症対策がきちんと実行されている証と思います。また、体調不良の場合は出席停止になり、集団内での感染の機会が減少していることも大きいと思います。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子